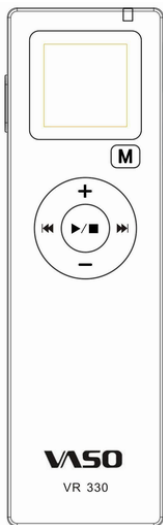


VASO[®]

デジタルボイスレコーダー

VR330



取扱説明書・保証書

安全に正しくお使い頂くために

この度は、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を正しくご利用頂くための基本的なお取り扱い方法などが記載されております。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。あなたと他の人々への危害や財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。

本製品の取り扱いについて

- ◎ 分解や改造をしないでください。
- ◎ 機器が故障したり、金属物が入ったりすると、火傷や感電、火災の原因となります。
- ◎ 製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ◎ 自動車やバイク、自転車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- ◎ 以下のような場所には保管しないでください。故障や事故の原因となります。
 - 60度以上の高温になる場所
 - 火気付近
 - 窓を閉め切った車内(特に炎天下)
 - 浴室などの湿度の高い場所
 - ほこりの多い場所
- ◎ 液晶画面に過度の力を加えないでください。画面や機能を損傷する原因になります。
- ◎ クレジットカード・キャッシュカードなどの磁気を帯びた物をスピーカーに近づけないでください。相互故障の原因となります。
- ◎ 航空機内や病院など電子機器の使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用機器へ影響を与えることがあります。
- ◎ 音量を上げすぎないでください。大音量で長時間続けて聴くと、聴力に影響を与える可能性があります。
- ◎ 小児の手の届かないところに保管してください。
- ◎ 水に濡らさないでください。

安全に正しくお使い頂くために

電池の取り扱いについて

- ◎ 電池の＋と－の向きは正しくセットしてください。
- ◎ 長時間使用しない場合は、電池をはずした状態にしてください。
- ◎ 使用済みの乾電池を再充電しないでください。
- ◎ 加熱、分解をしたり、火や水の中に放置したりしないでください。
- ◎ ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。
- ◎ 被覆のはがれた電池は使用しないでください。
- ◎ 新しい電池と古い電池が混在した状態で使用しないでください。
- ◎ 取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚染の原因となります。
- ◎ 液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- ◎ 小児の手の届かないところに保管してください。

免責事項

- ◎ 修理、その他による原因で消去されてしまった録音内容、データについては、当社は一切の責任を負いかねます。
- ◎ 製品の故障、誤動作などの要因により生じた録音の消失や無録音などにおいて、発生した損害などの付随補償については、当社は一切の責任を負いません。
- ◎ 製品の誤った使用により生じた損害、著作権の侵害などによる請求には、当社は一切の責任を負いません。
- ◎ 万が一パスワードを他人に知られたり、解かれたりした場合、その損害については、当社は一切の責任を負いません。

著作権について

- ◎ 私的用途以外で、歌唱、あるいは演奏・公演などの録音物を複製したり、公演などの音声を無断で録音したりするとは法律などにより禁じられています。

録音についてお願い

- ◎ 録り直しのできない録音をする場合は必ず事前に録音テストを実施してください。

- 目次 -

製品の特長	6
製品各部の名称	8
電池の取り扱い	9
電池の取り付け	9
電池残量表示	10
電源の起動と切断	11
電源の起動 (OPEN)	11
電源の切断 (OFF)	12
ホールド機能	13
ホールド機能を有効にする	13
ホールド機能を解除する	13
メニューモード	14
メニューモードへの切替	14
時計の設定	15
タイマー録音の開始設定	17
VOR 機能の設定	18
タイマー録音の時間設定	20
空きメモリ容量の表示	21
パスワード機能の設定	21
録音音質の選択	22
録音音質について	22
録音音質の選択操作	23
音声を録音する	24
内蔵マイクでの録音	24
外付けマイクでの録音	27

- 目次 -

録音した音声を再生する	28
内蔵スピーカーでの再生	28
イヤホンでの再生	30
音量の調節	30
再生の早送り/巻き戻し	31
ファイルのスキップ	31
リピート再生	32
外部機器との録音	35
外部機器からの録音	35
外部機器への録音	37
固定電話の通話内容を録音する	39
機器の接続	39
録音の実施	40
ファイルを消去する	41
1件削除	41
フォルダ内全件消去	43
パスワード機能	45
パスワード機能を ON にすると	45
パスワード機能の ON/OFF	45
パスワードの解除	47
初期パスワード	48
パスワードを変更する	49
パソコンに接続する	53
機器の接続	53
録音ファイルの確認	55
データの転送	56
パソコンから取り外す	57

- 目次 -

録音ファイルをパソコン上で再生する	58
HQ/MQ で録音したファイルをパソコン上で再生する	58
LQ で録音したファイルをパソコン上で再生する	59
ポータブルオーディオプレーヤーとして使用する	68
パソコン内の音楽ファイルを本製品にコピーする	68
コピーした音楽ファイルを再生する	69
故障かな?と思ったら	70
主な製品仕様	72
保証規定	73
保証書	74

製品の特長

●選べる3タイプの音質

録音する音質ごとに3タイプの録音音質を選択できます。聞き逃せない大切な録音には HQ 音質、長時間の録音には LQ 音質など使い分けができます。

○きれいに録音できる HQ/MQ 音質

HQ/MQ 音質では録音フォーマットに音声フォーマットとして広く普及している WAV フォーマットを使用しているため、高音質の録音が可能です。もちろん録音したファイルは WAV フォーマットなので、お手持ちのパソコンで簡単に再生することができます。

○長時間の録音に適した LQ 音質

LQ 音質はメモリの消費を抑えた設定のため、大変長時間な録音が可能です。

※LQ 音質の録音フォーマットはオリジナルフォーマットです。パソコンで再生するには付属の専用ソフトによるフォーマット変換が必要です。

●VOR 機能で無駄な録音をカット

音声を検知して自動的に録音を開始する VOR 機能により、音声が無いときには録音を自動的に一時停止するので無駄な録音をカットし、メモリの消費を節約します。

※MQ 音質と LQ 音質で録音する時のみ動作します。HQ 音質で録音する時は動作しません。

●簡単パソコン接続でモバイルストレージとしても

本体とパソコンを付属の USB ケーブルで接続するだけで、本体をパソコンが自動的に認識します。ファイル操作も専用ソフト不要ですので、本体のメモリ容量が一杯になったときは、消したくない録音ファイルをドラッグ & ドロップで簡単にパソコンに退避することができます。

もちろん、音声や音楽ファイルだけでなく Word や Excel などのビジネスデータ、画像や PDF などあらゆるパソコンデータを保存することができますので、自分のパソコンのデータを、会社や出張先などのパソコンに簡単に移動できます。

※対応 OS: Windows 2000/XP/Vista(32bit)

※自作パソコンでの動作保証はございません。

●ポータブルオーディオプレーヤーとしても活躍

音楽ファイルとして広く普及している MP3 フォーマットと WMA フォーマットの再生に対応していますので、オフタイムにはお気に入りの音楽ファイルを入れてポータブルオーディオプレーヤーとしても活躍できます。

※WMA は DRM 非対応

製品の特長

●タイマー機能で自動録音

内部時計により、指定した時間に自動的に録音を開始することができます。また、録音時間設定を併用すれば、自動的に録音を停止させることも可能です。

●電話録音ができるアダプタ付

電話の通話内容を後で確認するときに便利な電話録音用アダプタキットが標準で付属しています。

※携帯電話には使えません。

※コードレスの子機には使えません。

※電話機によっては音声を鮮明に録音できないことがあります。

●4桁のパスワードで操作をロックするパスワード機能

4桁のパスワードで本体の操作をロックすることができます。他の人に操作されたくないときや、聴かれたくない機密性の高い録音があるときに使用すると便利です。もちろん、パスワードロック中はパソコンからの操作もロックします。

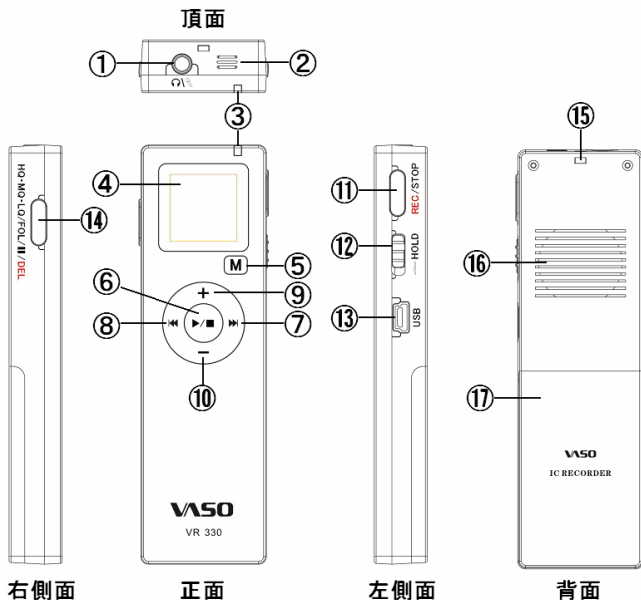
※本製品のセキュリティ機能は、パスワードにより本製品の操作を制限するものであり、録音データの暗号化等を行うものではありません。

※設定したパスワードを忘れてしまうと本製品内のすべてのデータを使用できなくなるため、パスワードは必ずメモに記録するなどして大切に保管してください。

●その他の機能

○リポート再生(1 ファイルリポート/1 フォルダリポート/A-B リポート) ○早送り/巻き戻し/スキップ再生 ○ホールド機能 ○ファイル削除(1 ファイル削除/1 フォルダ削除) ○音量調節 ○時計機能 ○空きメモリ容量表示 ○電池残量表示 ○自動電源 OFF 機能 ○スピーカー内蔵 ○外部機器録音

製品各部の名称



右側面

正面

左側面

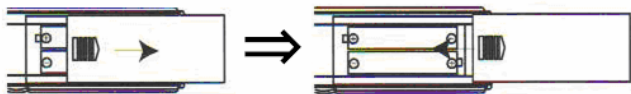
背面

- ①イヤホン/マイク端子(Φ/℄)
- ②内蔵マイク
- ③録音ランプ
- ④ディスプレイ
- ⑤メニューボタン(M)
- ⑥再生/停止/決定/電源ボタン(▶/■)
- ⑦早送りボタン(▶▶)
- ⑧巻き戻しボタン(◀◀)
- ⑨音量+ボタン(+)
- ⑩音量-ボタン(-)
- ⑪録音/停止ボタン(REC/STOP)
- ⑫ホールドスイッチ(HOLD)
- ⑬USB 端子(USB)
- ⑭音質選択/フォルダ選択/一時停止/消去ボタン(HQ・MQ・LQ/FOL/■/DEL)
- ⑮ストラップホール
- ⑯内蔵スピーカー
- ⑰電池カバー

電池の取り扱い

電池の取り付け

本製品は単4アルカリ電池2本を電源として使用します。本体背面の【⑩電池カバー】をスライドさせて開き、単4電池2本を表示に従い、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確かめて正しくセットしてください。



電池のセット後、本体の画面は下記の「時刻表示状態」となります。



⚠ 注意

- 長期間使用しない場合は、電池を取り出して保管してください。
- 誤った操作をされるとデータが消去される可能性がありますので、電池の出し入れの際は必ず録音・再生を停止してください。
- 電池の極性を誤ってセットすると、製品の故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

電池の取り扱い

電池残量表示

電池残量の目安が、本体の画面に表示されます。



「残量十分」



「残量やや不足」



「交換時期」



「残量なし」

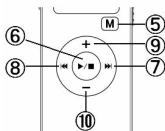
⚠ 注意

- 電池残量が少なくなると、製品が正常に動作できなくなることがございますので、目安に従って、お早めの電池交換をお勧め致します。
- 「残量なし」の状態になると自動的に電源が切れます。
- 製品付属の電池はテスト用電池です。製品の在庫状況などにより、電池残量が少なくなっていることがございますのでご了承ください。
- 電池の交換時には新品の電池をご使用ください。
- 電池の持続時間はお使いになる環境(室温や音量の大小など)により異なります。

電源の起動と切断

電源の起動(OPEN)

電源を起動するには、時刻表示状態のときに、[⑥電源ボタン(▶/■)]を画面に「OPEN」と表示されるまで「約2秒間」押し続けます。



電源が起動すると、自動的に本体内の再生可能なファイルが保存されたフォルダのスキャンを開始します。再生可能なファイルが保存されたフォルダを見つけるとスキャンは自動的に停止し、待機状態(録音も再生も停止している状態)となります。

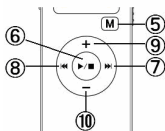
⚠ 注意

- ホールド機能を有効にしていると、電源を起動することができません。まずホールド機能を解除してから電源の起動操作を行ってください。(⇒ [13ページ](#))
- パスワード機能を ON にしていると、電源を起動するときにパスワード認証が必要です。正しいパスワードを入力しないと本製品の電源を起動することができませんのでご注意ください。(⇒ [45ページ](#))

電源の起動と切断

電源の切断(OFF)

電源を切断するには、待機状態のときに、[⑥電源ボタン(▶/■)]を画面に「OFF」と表示されるまで「約2秒間」押し続けます。



電源が切断されると時刻表示状態となります。

⚠ ワンポイント

本製品は省電力設計のための「自動電源 OFF 機能」により、待機状態のときに、何もボタン操作をしない状態が「数十秒間」継続すると、自動的に電源が切断されます。

ホールド機能

ホールド機能とはボタンの誤操作を防ぐための機能です。

ホールド機能を有効にする

ホールド機能を有効にするには、本体左側面の[⑫ホールドスイッチ (HOLD)]を表示されている「矢印の方向」へスライドさせてください。

ホールド機能が有効になると、ボタン操作をするときに画面に「HOLD」と表示され全てのボタン操作ができなくなります。



⚠ 注意

ホールド機能を有効にしていると、本体の電源切断状態から電源を起動することができません。

ホールド機能を解除する

ホールド機能を解除するには、[⑫ホールドスイッチ (HOLD)]を表示されている「矢印の逆方向へ」スライドさせます。

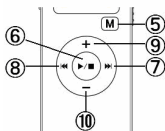
メニューモード

メニューモードからさまざまな設定を行うことができます。

メニューモードへの切替

メニューモードに切替えるには、待機状態のときに、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く押します。

待機状態のときに、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く1回押すと、本体の画面は**[D フォルダ]**へ移り、その後、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く押す度に下記の順でメニューが推移していきます。



待機状態



「D」フォルダ



時計の設定



タイマー録音
の開始設定

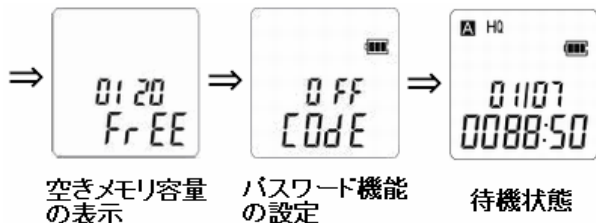


VOR機能の設定



タイマー録音
の時間設定

メニューモード



- [時計の設定](⇒ 15ページ)
- [タイマー録音の開始設定](⇒ 17ページ)
- [VOR 機能の設定](⇒ 18ページ)
- [タイマー録音の時間設定](⇒ 20ページ)
- [空きメモリ容量の表示](⇒ 21ページ)
- [パスワード機能の設定](⇒ 21ページ)

⚠ ワンポイント

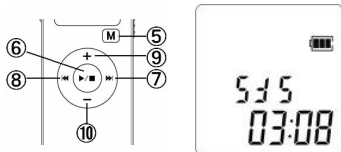
D フォルダに再生できるファイルが保存されていなければ、自動的に[時計の設定]へメニューが移ります。

時計の設定

このメニューでは内部時計を設定することができます。**内部時計はタイマー録音機能や録音ファイルの作成日時に連動します。**なお、時計は「24時間表示」となります。

メニューモード

- (1) 待機状態のときに、[⑤メニューボタン(M)]を軽く数回押して画面を下記の[時計の設定]メニューにします。



- (2) [⑦早送りボタン(▶▶)]を軽く1回押して、4桁の年表示が「点滅」している状態にし、[⑨音量+ボタン(+)]または[⑩音量-ボタン(-)]を押して設定したい数値に合わせます。



- (3) 設定したい数値に合わせたら、[⑦早送りボタン(▶▶)]を軽く1回押して、その数値を確定し、次の月表示の数値設定へ移ります。
- (4) あとは上記(2)(3)の要領で「年/月/日/時/分」の各項目の数値を全て設定し終わったら[⑤メニューボタン(M)]を軽く押して、このメニューの設定内容を確定します。

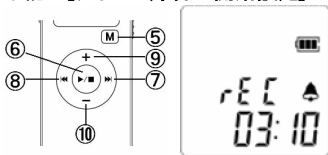
⚠ 注意

- [時計の設定]が正しく行われていませんと、タイマー録音機能を正しく使用できなかつたり、録音ファイルの作成日時が正しく記録されませんので、ご注意ください。
- 電池の残量がなくなつたり、本体から電池を抜いてしまうと内部時計は初期化されてしまうため、再度[時計の設定]をやり直す必要がございます。

タイマー録音の開始設定

このメニューでは設定した時刻に録音を自動的に開始させることができます。

- (1) 待機状態のときに、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く数回押して画面を下記の**[タイマー録音の開始設定]**メニューにします。



- (2) **[⑦早送りボタン(▶▶)]**を軽く1回押して、4桁の年表示「点滅」している状態にし、**[⑨音量+ボタン(+)]**または**[⑩音量-ボタン(-)]**を押して設定したい数値に合わせます。



- (3) 設定したい数値に合わせたら、**[⑦早送りボタン(▶▶)]**を軽く1回押して、その数値を確定し、次の月表示の数値設定へ移ります。
- (4) あとは上記(2)(3)の要領で「年/月/日/時/分」の各項目の数値を全て設定し終わったら**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く押して、このメニューの設定内容を確定します。

⚠ 注意

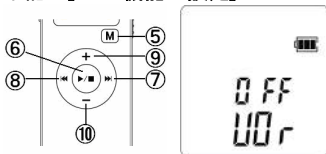
- 設定時刻は本体の内部時計に連動しますので、必ず、事前に[時計の設定]を正しく行ってください。なお、時計は 24 時間表示となります。(⇒ 15 ページ)
- タイマー録音で録音される音質は、タイマー録音が開始される直前に選択した音質となります。

VOR 機能の設定

このメニューでは VOR 機能の「ON/OFF」を切替えることができます。VOR 機能とは録音中に録音する音声が無い状態に自動的に録音を一時停止して無駄な録音を防ぐ機能です。VOR 機能を ON にすると、録音中に一定以上の音量を感知できない状態が一定時間継続すると自動的に録音を一時停止し、再度一定以上の音量を感知すると自動的に録音を再開します。

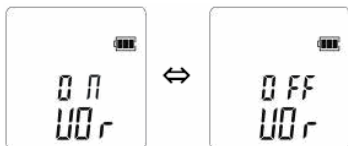
ただし、VOR 機能は MQ 音質と LQ 音質で録音する時のみ動作します。HQ 音質で録音する時は動作しませんのでご注意ください。

- (1) 待機状態のときに、[⑤メニューボタン(M)]を軽く数回押して画面を下記の[VOR 機能の設定]メニューにします。

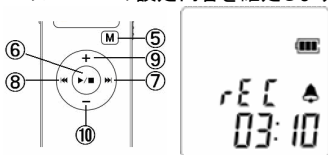


メニューモード

- (2) [⑦早送りボタン(▶▶)]または[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く押して、「ON/OFF」を選択します。「ON」を選択すると VOR 機能は ON (有効)となり、「OFF」を選択するとVOR機能はOFF(無効)となります。



- (3) 「ON/OFF」の選択を終えたら[⑤メニューボタン(M)]を軽く押して、このメニューの設定内容を確定します。



⚠ ワンポイント

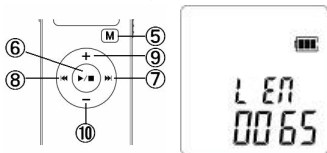
VOR 機能を ON にすると、録音時の画面に「VOR」のアイコンが「点灯」し、VOR 機能によって録音が一時的に停止している間は「VOR」のアイコンが「点滅」します。

メニューモード

タイマー録音の時間設定

このメニューでは[タイマー録音の開始設定]メニューを使って開始されたタイマー録音の録音継続時間を分単位で設定することができます。例えば、このメニューで「0010」と設定すると、タイマー録音が開始されてから10分後に自動的に録音が停止します。

- (1) 待機状態のときに、[⑤メニューボタン(M)]を軽く数回押して画面を下記の[タイマー録音の時間設定]メニューにします。



- (2) [⑦早送りボタン(▶▶)]または[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く押して、4桁の内の設定したい桁を選択します。
- (3) 選択した桁の表示が「点滅」している状態になったら[⑨音量+ボタン(+)]または[⑩音量-ボタン(-)]を押して設定したい数値に合わせます。
- (4) あとは(2)(3)の要領で4桁の数値を全て設定し終えたら[⑤メニューボタン(M)]を軽く押して、このメニューの設定内容を確定します。

⚠ 注意

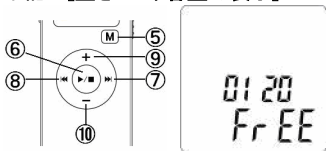
- この設定はタイマー録音で開始された録音に対してのみ有効です。手動で開始した録音に対しては適用されません。
- 録音が一時停止している間の時間は録音時間にカウントされません。
- このメニューで「0100」と設定したときは100分間の録音となります。

メニューモード

空きメモリ容量の表示

このメニューでは本体の空きメモリ容量を確認することができます。

- (1) 待機状態のときに、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く数回押して画面を下記の**[空きメモリ容量の表示]**メニューにします。



- (2) 空きメモリ容量は4桁の数値で表示され、その単位は MB です。例えば、上記の画面の場合、空きメモリ容量は「120MB」と確認できます。

⚠ 注意

- 空きメモリ容量が 0 になるとそれ以上の録音ができませんので、不要なファイルを削除するか、PC へ退避などしてください。
- 内蔵メモリのうち、数%のメモリ容量を本体が動作するためのシステム領域として使用するため、内蔵メモリの全てのメモリ容量をユーザー領域として使用することはできません。

パスワード機能の設定

このメニューではパスワード機能の「ON/OFF」やパスワードの変更をすることができます。パスワード機能を ON にすると、4桁のパスワードで本体の操作をロックすることができます。ロックの解除には設定した4桁のパスワードの入力が必要です。また、パスワードロック中はパソコンからの操作もロックします。

パスワード機能に関する詳しい説明は 45ページ をご参照ください。

録音音質の選択

本製品では録音する音質を[HQ/MQ/LQ]の3タイプから選択することができます。選択中の音質は画面に表示されます。

録音音質について

録音する音質は [LQ] ⇒ [MQ] ⇒ [HQ] の順に高音質になり、高音質になるほど、録音するのに多くのメモリが必要となるため、長時間の連続録音をする場合は低音質の録音が適しています。また、選択した録音音質ごとに録音ファイルが保存されるフォルダがあらかじめ下記のように決められており、任意で変更することはできません。

- [HQ]で録音 ⇒ [A フォルダ]に保存
- [MQ]で録音 ⇒ [B フォルダ]に保存
- [LQ]で録音 ⇒ [C フォルダ]に保存

●録音音質別最長録音可能時間の目安

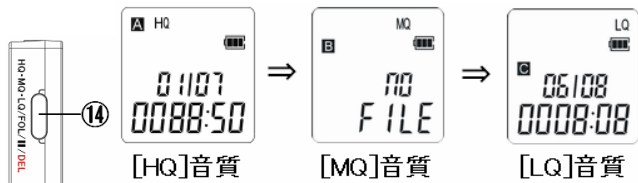
録音音質		HQ	MQ	LQ
メモリ容量	128MB	約 4.1 時間	約 8.3 時間	約 33.3 時間
	256MB	約 8.3 時間	約 16.6 時間	約 66.6 時間
	512MB	約 16.6 時間	約 33.3 時間	約 133.3 時間
	1GB	約 33.3 時間	約 66.6 時間	約 266.6 時間
保存されるフォルダ		A	B	C
フォーマット		WAV	WAV	オリジナル
ビットレート		64Kbps	32Kbps	8Kbps
VOR 機能		×	○	○

※表の値は理論値による目安です。実際の録音時間とは誤差が生じることがございます。

録音音質の選択

録音音質の選択操作

録音音質を選択するには待機状態のときに、本体右側面の[⑭音質選択ボタン(HQ・MQ・LQ)]を軽く押します。[⑭音質選択ボタン(HQ・MQ・LQ)]を1回押す度に録音音質の表示が [HQ] ⇒ [MQ] ⇒ [LQ] ⇒ [HQ] の順番で移って行きますので、[⑭音質選択ボタン(HQ・MQ・LQ)]を数回押して選択したい録音音質を選択します。



⚠ 注意

[HQ]で録音する時、VOR機能は動作しませんのでご注意ください。

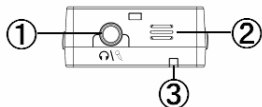
音声を録音する

内蔵マイクまたは外付けマイクを使用して音声を録音します。

内蔵マイクでの録音

本体頂面の[②内蔵マイク]を使用して音声を録音します。

録音音質の選択は録音を開始する前に実施してください。

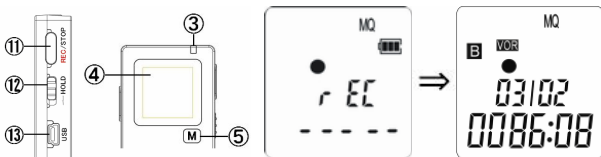


⚠ 注意

- 録りなおしのできない録音をする場合は必ず事前に録音テストを実施してください。
- 鮮明な音声を録音するには、[②内蔵マイク]をできるだけ録音したい音源へ近づけてください。
- [②内蔵マイク]と音源の間に遮へい物があったり、[②内蔵マイク]がカバンや服などに隠れていたりする場合は、鮮明な音声が録音できませんのでご注意ください。

(1) 録音を開始する

録音を開始するには、待機状態のときに[①録音/停止ボタン (REC/STOP)]を画面に「rEC」と表示されるまで、「約2秒間」押し続けます。録音が始まると、画面に[●(録音マーク)]が「点灯」して録音経過時間のカウントが開始され、本体正面の[③録音ランプ]が「点灯」します。



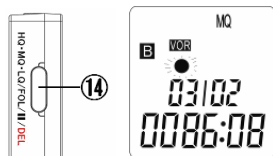
音声を録音する

なお、録音開始時、または録音途中に画面に「d IC FULL」と表示されると、内蔵メモリの空き容量がなく、それ以上の録音ができない状態です。保存しているデータを退避や削除して、メモリの空き容量を確保してください。



(2) 録音を一時停止する

録音を一時停止するには、録音中に[⑭一時停止ボタン(II)]を軽く1回押します。録音が一時的に停止されると、画面の[●(録音マーク)]が「点灯」⇒「点滅」に切り替わり、[③録音ランプ]が「消灯」します。

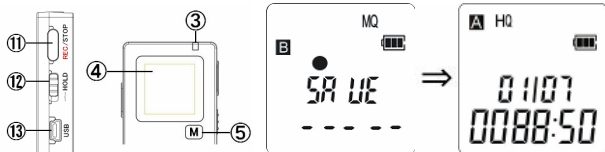


一時停止状態から録音を再開するには、再度[⑭一時停止ボタン(II)]を軽く1回押します。録音が再開されると、画面の[●(録音マーク)]が「点滅」⇒「点灯」に切り替わり、[③録音ランプ]が「点灯」します。

音声を録音する

(3) 録音を終了する

録音を終了するには、録音中または録音の一時停止中に[①録音/停止ボタン(REC/STOP)]を軽く1回押します。録音が終了すると、画面に「SAVE」と表示され、[●(録音マーク)]と[③録音ランプ]が「消灯」し、待機状態に戻ります。



⚠ 注意

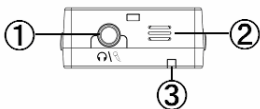
録音中は絶対に本体の電源を切断しないでください。録音中に本体の電源が切断されると、録音中のデータおよび、本製品に保存されている全てのデータが損失する可能性があります。また、本製品の故障の原因ともなりますのでご注意ください。

音声を録音する

外付けマイクでの録音

本製品は本体の内蔵マイクでの録音以外に、市販の外付けマイクを[①イヤホン/マイク端子(🎧/🎙️)]に接続することによって、外付けマイクでの音声録音が可能です。なお、録音の操作手順は**内蔵マイクでの録音**の手順と同じです。

録音音質の選択は録音を開始する前に実施してください。



⚠️ 注意

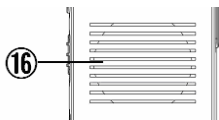
- 鮮明な音声を録音するには、外付けマイクをできるだけ録音したい音源へ近づけてください。
- 外付けマイクと音源の間に遮へい物があったり、外付けマイクがカバンや服などに隠れていたりする場合は、鮮明な音声は録音できませんのでご注意ください。
- 外付けマイクでの音声録音中は、内蔵マイクからは音声は録音されません。

録音した音声を再生する

録音した音声を内蔵スピーカーまたはイヤホンから再生します。

内蔵スピーカーでの再生

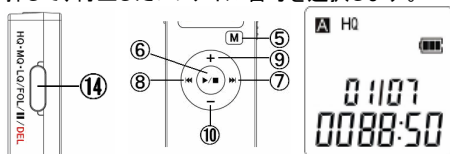
本体背面の[16内蔵スピーカー]から音声を再生します。



(1) 再生する録音ファイルを選択する

待機状態のときに[14フォルダ選択ボタン(FOL)]を軽く押して、再生したいファイルが保存されているフォルダを選択します。

続いて、[7早送りボタン(▶▶)]または[8巻き戻しボタン(◀◀)]を押して、再生したいファイル番号を選択します。



(2) 再生を開始する

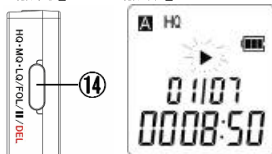
ファイルの再生を開始するには、再生したいファイルが選択されている状態で、[6再生/停止ボタン(▶/■)]を軽く1回押します。再生が開始されると画面に[▶(再生マーク)]が「点灯」し、再生時間のカウントが開始されます。



録音した音声を再生する

(3) 再生を一時停止する

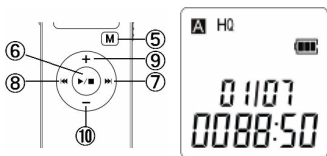
再生を一時停止するには、再生中に[⑭一時停止ボタン(⏸)]を軽く1回押します。再生が一時停止されると画面の[▶(再生マーク)]が「点灯」⇒「点滅」に切替わります。



一時停止状態から再生を再開するには、再度[⑭一時停止ボタン(⏸)]を軽く1回押します。再生が再開されると画面の[▶(再生マーク)]が「点滅」⇒「点灯」に切替わります。

(4) 再生を終了する

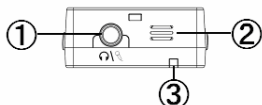
再生を終了するには、再生中または再生の一時停止中に[⑥再生/停止ボタン(▶/■)]を軽く1回押します。再生が終了すると、[▶(再生マーク)]が「消灯」し、待機状態に戻ります。



録音した音声を再生する

イヤホンでの再生

本製品は本体の内蔵スピーカーでの他、イヤホンを[①イヤホン/マイク端子(📞/🎧)]に接続することによって、イヤホンでの音声再生が可能です。なお、再生の操作手順は**内蔵スピーカーでの再生**の手順と同じです。

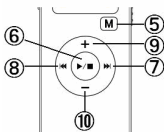


⚠ ワンポイント

イヤホンでの音声再生中は、内蔵スピーカーからは音声は出力されません。

音量の調節

再生する音量は、待機状態またはファイルの再生中、一時停止中に[⑨音量+ボタン(+)]または[⑩音量-ボタン(-)]を押して調節します。音量は0(無音)~31まであり、数値が上がるほど音量は大きくなります。



⚠ 注意

音量を上げ過ぎると、場合によっては聴力を害する恐れがございますのでご注意ください。

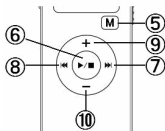
録音した音声を再生する

再生の早送り/巻き戻し

再生を早送りするには、ファイルの再生中に[⑦早送りボタン(▶▶)]を押し続けます。

巻き戻しするには、ファイルの再生中に[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を押し続けます。

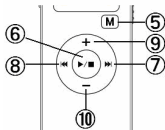
早送り/巻き戻しを終了するには、押し続けているボタンを離せば、その時点よりの通常再生に戻ります。



ファイルのスキップ

再生するファイルをスキップするには、ファイルの再生中に[⑦早送りボタン(▶▶)]を軽く1回押すと現在のファイルの再生を中断し、次のファイルの再生が開始されます。

また、ファイルの再生中に[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く1回押すと現在のファイルの再生を中断し、前のファイルの再生が開始されます。



⚠ 注意

再生の早送り/巻き戻し中に音声は出力されません。

録音した音声を再生する

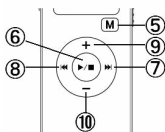
リピート再生

リピート再生には[1ファイルリピート/1フォルダリピート/A-B リピート]の3タイプの再生モードがあります。設定中のリピートモードは画面に表示され、それぞれの設定手順は次の通りです。

●[1ファイルリピート(?)]

1つのファイルの再生が終わると、自動的にそのファイルを始めから再生を開始し、それを繰り返します。

1 ファイルリピートを設定するには、**ファイルの再生中に**[⑤メニューボタン(M)]を軽く押します。[⑤メニューボタン(M)]を1回押す度に画面の再生モードの表示が[表示なし](通常再生) ⇒ [?] (1ファイルリピート) ⇒ [0] (1フォルダリピート) ⇒ [表示なし](通常再生)の順番で移って行きますので、[⑤メニューボタン(M)]を数回軽く押して[?] (1ファイルリピート)に設定します。



通常再生

1ファイルリピート

1フォルダリピート

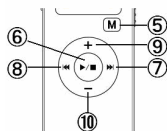
なお、リピート再生を解除するには、上記の要領で**ファイルの再生中に**[⑤メニューボタン(M)]を数回押して、[表示なし](通常再生)に戻します。

録音した音声を再生する

●[1フォルダリピート(0)]

1つのファイルの再生が終わると、自動的に次のファイルの再生を開始し、フォルダ内の全てのファイルの再生を行います。フォルダ内の最後のファイルの再生が終わると、自動的に最初のファイルに戻って再生を開始し、それを繰り返します。

1 フォルダリピートを設定するには、**ファイルの再生中**に[⑤メニューボタン(M)]を数回軽く押し、[⑩](1フォルダリピート)に設定します。



通常再生



1ファイルリピート



1フォルダリピート

なお、リピート再生を解除するには、上記の要領で**ファイルの再生中**に[⑤メニューボタン(M)]を数回押し、[表示なし](通常再生)に戻します。

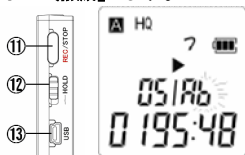
録音した音声を再生する

●[A-B リピート(Ab)]

1つのファイル内に「起点 A」と「終点 B」を設定し、設定した A-B 間の箇所を繰返し再生します。

(1) 「起点 A」を設定する

ファイルの再生中に繰返し再生させたい箇所の始まりに[⑪録音/停止ボタン(REC/STOP)]を軽く1回押して、「起点A」を設定します。「起点A」が設定されると、画面に「A」の表示が「点灯」し、「b」の表示が「点滅」します。



(2) 「終点 B」を設定する

繰返し再生させたい箇所の終わりに[⑪録音/停止ボタン(REC/STOP)]を軽く1回押して、「終点 B」を設定します。「終点 B」が設定されると、画面の「b」の表示が「点滅」⇒「点灯」に切替ります。その後、自動的に「起点A」から「終点 B」の間の箇所を繰返し再生するようになります。



(3) A-B リピートを終了する

A-B リピートを終了するには、[⑪録音/停止ボタン(REC/STOP)]を軽く1回押してください。画面の「Ab」の表示が「消灯」し、通常再生に戻ります。

外部機器との録音

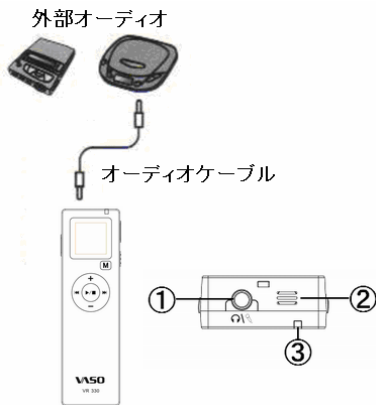
付属のオーディオケーブルを使用して、外部機器から音声などを録音したり、本製品の録音内容を外部機器へ録音したりすることができます。

外部機器からの録音

付属のオーディオケーブルを使用して、本製品にCDプレーヤーやTVなどの外部機器の音源を録音します。

(1) 機器を接続する

本体頂面の[①イヤホン/マイク端子(🔊/🎧)]と外部機器のイヤホン(出力)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



(2) 本製品の録音を開始する

本製品の録音を開始してください。録音の操作手順は通常録音の手順と同じですので、詳しい説明は24ページをご参照ください。

外部機器との録音

(3) 外部機器の再生を開始する

本製品の録音を開始したら、次に外部機器の再生を開始してください。外部機器の操作方法は、外部機器の説明書などをご確認ください。

▲ ワンポイント

外部機器の音量が大きすぎると録音される音声に歪みが生じることがございますので、その際は外部機器の音量を中音量より小さく調節してください。

(4) 外部機器の再生を終了する

外部機器の再生を終了してください。外部機器の操作方法は、外部機器の説明書などをご確認ください。

(5) 本製品の録音を終了する

本製品の録音を終了してください。録音の操作手順は通常録音の手順と同じですので、詳しい説明は24ページをご参照ください。

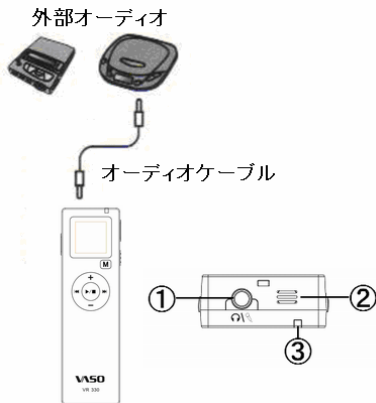
外部機器との録音

外部機器への録音

外部機器に録音機能がある場合は、本製品の録音内容を外部機器へ録音することができます。

(1) 機器を接続する

本体頂面の[①イヤホン/マイク端子(🔊/🎤)]と外部機器のマイク(入力)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



(2) 外部機器の録音を開始する

外部機器の録音を開始してください。外部機器の操作方法は、外部機器の説明書などをご確認ください。

外部機器との録音

(3) 本製品の再生を開始する

外部機器の録音を開始したら、次に本製品の再生を開始してください。再生の操作手順は通常再生の手順と同じですので、詳しい説明は28ページをご参照ください。

▲ ワンポイント

本製品の音量が大きすぎると録音される音声に歪みが生じることがございますので、その際は本製品の音量を中音量より小さく調節してください。

(4) 本製品の再生を終了する

本製品の再生を終了してください。再生の操作手順は通常再生の手順と同じですので、詳しい説明は28ページをご参照ください。

(5) 外部機器の録音を終了する

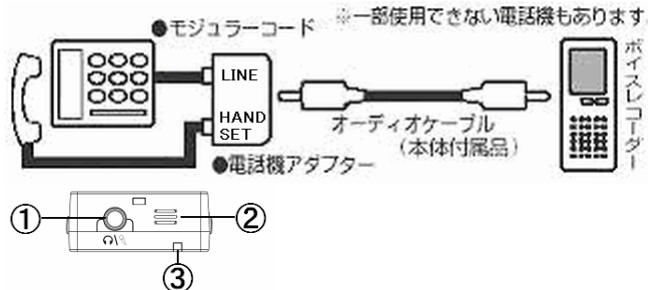
外部機器の録音を終了してください。外部機器の操作方法は、外部機器の説明書などをご確認ください。

固定電話の通話内容を録音する

付属の電話回線アダプタを使用して、固定電話（一般家庭用）の通話内容を録音します。

機器の接続

付属の電話回線アダプタを使用して、本製品と電話機を接続します。



(1) 電話機を受話器を取り外す

電話機本体からモジュラーコードごと受話器を取り外します。

(2) 電話機と電話回線アダプタを接続する

(1)で取り外した電話機本体のモジュラーコードに付属のモジュラーコードを差し込み、そのモジュラーコードの反対側を電話回線アダプタの[LINE]側のジャックに差し込みます。

⚠ 注意

付属のモジュラーコードには大きさの区別がある場合がございますのでご注意ください。

(3) 受話器と電話回線アダプタを接続する

(1)で取り外した受話器のモジュラーコードを電話アダプタの[HANDSET]側のジャックに差し込みます。

(4) 本製品と電話回線アダプタを接続する

本体頂面の[①イヤホン/マイク端子(🎧/🎙️)]と付属の電話回線アダプタの出力端子を付属のオーディオケーブルで接続します。

固定電話の通話内容を録音する

録音の実施

機器の接続が完了したら、本製品の録音を開始してください。録音の操作手順は通常録音の手順と同じですので、詳しい説明は24ページをご参照ください。

▲ 注意

- 付属の電話回線アダプタは一般の固定電話機にのみ対応しております。ビジネスフォンなどのデジタル回線にはご使用できませんのでご注意ください。
- 一般の固定電話機であっても、お使いの電話機によっては通話音声鮮明に録音できない場合がございます。
- 通話の録音ができるのは電話機本体の受話器を使用して通話した場合に限ります。ワイヤレスの子機の受話器などを使用した場合は通話の録音できませんのでご注意ください。

ファイルを消去する

不要になった録音ファイルを消去します。消去には1件消去とフォルダ内全件消去の2つの方法があります。

1件消去

選択した1件のファイルのみを消去します。

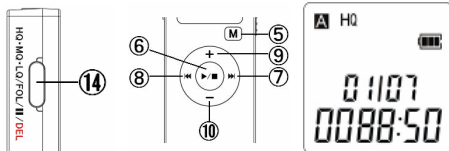
⚠ 注意

消去したファイルは復旧ができませんので、消去操作はよくご検討のうえ、実行してください。

(1) 消去するファイルを選択する

待機状態のときに[14フォルダ選択ボタン(FOL)]を軽く押して、消去したいファイルが保存されているフォルダを選択します。

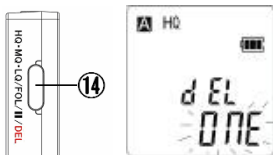
続いて、[7早送りボタン(▶▶)]または[8巻き戻しボタン(◀◀)]を押して、消去したいファイル番号を選択します。



ファイルを消去する

(2) 消去を実行する

消去したいファイルが選択されている状態で、**[消去ボタン(DEL)]**を「約2秒間」、画面に「dEL ONE」と表示されるまで**押し続けます**。この時、同時に消去対象のファイルの再生が開始されます。



画面に「ONE」の表示が「点滅」している状態で、**[⑥決定ボタン(▶/■)]**を軽く1回押すと、「dONE」と表示された後に該当ファイルが消去され、待機状態に戻ります。



なお、消去操作を途中でキャンセルするには、画面に「dEL ONE」の表示がある状態で、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く1回押すと、消去操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。

⚠ 注意

画面が「dEL ONE」の表示のまま、何もボタンを操作しない状態が「十数秒」継続すると、消去操作は自動的にキャンセルされ、待機状態へ戻ります。

ファイルを消去する

フォルダ内全件消去

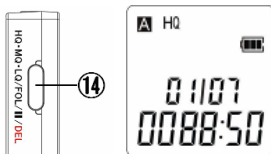
選択したフォルダ内の全てのファイルを削除します。

⚠ 注意

消去したファイルは復旧ができませんので、消去操作はよくご検討のうえ、実行してください。

(1) 消去するフォルダを選択する

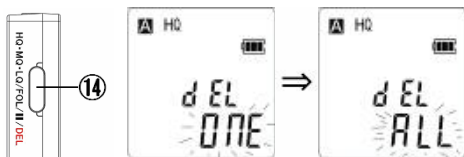
待機状態のときに[⑭フォルダ選択ボタン(FOL)]を軽く押して、消去したいフォルダを選択します。



ファイルを消去する

(2) 消去を実行する

消去したいフォルダが選択されている状態で、**[消去ボタン(DEL)]**を「約2秒間」、画面に「dEL ONE」と表示されるまで押し続けます。次に再度**[消去ボタン(DEL)]**を軽く1回押して、画面の表示を「dEL ONE」⇒「dEL ALL」に切替えます。



画面に「ALL」の表示が「点滅」している状態で、**[決定ボタン(▶/■)]**を軽く1回押すと、「dONE」と表示された後に該当ファイルが消去され、待機状態に戻ります。



なお、消去操作を途中でキャンセルするには、画面に「dEL ALL」の表示がある状態で、**[メニューボタン(M)]**を軽く1回押すと、消去操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。

⚠ 注意

画面が「dEL ALL」の表示のまま、何もボタンを操作しない状態が「十数秒」継続すると、消去操作は自動的にキャンセルされ、待機状態へ戻ります。

パスワード機能

パスワード機能とは4桁のパスワードで本体の操作をロックする機能です。ロックの解除には設定した4桁のパスワードの入力が必要です。また、パスワードロック中はパソコンからの操作もロックします。

パスワード機能を ON にすると

パスワード機能を ON にすると、次の操作を行う際にパスワード認証によるロック解除が必要となります。

- 本体の電源の起動時
- パソコンとの接続時

パスワード認証では設定した4桁のパスワードを正しく入力して、ロックを解除すれば通常の操作が行えるようになります。

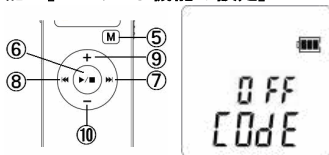
⚠ 注意

パスワード機能はパスワードにより本製品の操作を制限するものであり、録音データの暗号化等を行うものではありません。

パスワード機能の ON/OFF

[パスワード機能の設定]メニューにより、パスワード機能の「ON/OFF」を切替えることができます。

- (1) 待機状態のときに[⑤メニューボタン(M)]を軽く数回押し、画面を下記の[パスワード機能の設定]メニューにします。



パスワード機能

- (2) [⑦早送りボタン(▶▶)]または[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く押して、「ON/OFF」を選択します。「ON」を選択するとパスワード機能はON(有効)となり、「OFF」を選択するとパスワード機能はOFF(無効)となります。



- (3) 「ON/OFF」の選択を終えたら[⑤メニューボタン(M)]を軽く押して、このメニューの設定内容を確定します。
なお、「ON」を選択した後に[⑤メニューボタン(M)]を押すと「パスワード変更」の画面に移ります。パスワード変更をしないときは続けて[⑤メニューボタン(M)]を軽く1回押すと、以前に設定されたパスワードのまま、パスワード機能は有効となります。
「パスワード変更」の操作の詳細は49ページをご参照ください。

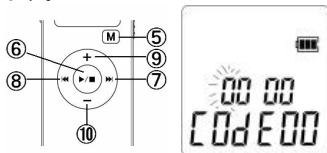


パスワード機能

パスワードの解除

パスワード認証によるロックを解除するには、設定した4桁のパスワードを正しく入力する必要があります。

- (1) 「パスワード認証」の画面で[⑦早送りボタン(▶▶)]または[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く押して、4桁の内の入力したい桁を選択します。



- (2) 選択した桁の表示が「点滅」している状態になったら[⑨音量+ボタン(+)]または[⑩音量-ボタン(-)]を押して入力したい数値に合わせます。

パスワード機能

- (3) あとは(1)(2)の要領で4桁の数値を全て入力し終わったら[⑤メニューボタン(M)]を軽く押して、入力したパスワードを確定します。入力したパスワードが正しければ、ロックが解除され、通常操作の画面に移ります。



なお、入力したパスワードが正しくないと、画面に「Err」と表示され、3回続けてパスワードを間違えた場合は、自動的に本体の電源が切断されます。



⚠ 注意

本製品の工場出荷時の初期パスワードは「0000」です。

初期パスワード

本製品の工場出荷時の初期パスワードは「0000」です。ユーザー自身がパスワードを変更しない限り、初期パスワードは変更されることはありません。

パスワード機能

パスワードを変更する

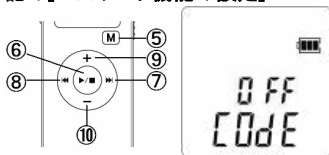
認証用のパスワードは任意の4桁の数字に変更することができます。

⚠ 注意

- 変更したパスワードを忘れてしまうと本製品の操作ができなくなり、製品内のデータを使用できなくなるため、パスワードは必ずメモに記録するなどして大切に保管してください。
- ユーザーが変更したパスワードの解読や解除などは、当社では一切できません。
- 万が一、パスワードを他人に知られたり、解かれたりした場合、その損害については、当社は一切の責任を負いません。
- 万が一、変更したパスワードを忘れたときは、当社サポートへご相談ください。

(1) パスワード変更の画面にする

待機状態のときに[⑤メニューボタン(M)]を軽く数回押し、画面を下記の[パスワード機能の設定]メニューにします。



[⑦早送りボタン(▶▶)]または[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く押して、「ON」を選択したら、[⑤メニューボタン(M)]を軽く1回押して画面を下記の「パスワード変更」の画面にします。

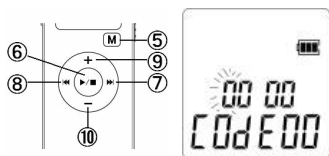


(2) 現行のパスワードを入力する

「パスワード変更」の画面ではまず、現行のパスワードを入力します。

[⑦早送りボタン(▶▶)]または[⑧巻き戻しボタン(◀◀)]を軽く押して、4桁の内の入力したい桁を選択します。

選択した桁の表示が「点滅」している状態になったら[⑨音量+ボタン(+)]または[⑩音量-ボタン(-)]を押して入力したい数値に合わせます。



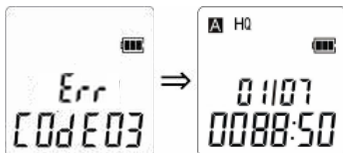
(3) 入力したパスワードを確定する

入力したパスワードを確定するには、[⑥決定ボタン(▶/■)]を軽く1回押します。入力したパスワードが正しければ、画面の表示が「COdE 00」⇒「COdE 10」に変わり、「新しいパスワードの入力」の画面に移ります。



パスワード機能

なお、入力したパスワードが正しくないと、画面に「Err」と表示され、3回続けてパスワードを間違えた場合は、自動的に「パスワード変更」操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。



(4) 新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの入力」の画面では、(2)の要領で新しいパスワードを入力します。新しいパスワードの入力が完了したら変更したパスワードを忘れないようにメモなどに記録してください。

(5) 入力したパスワードを確定する

入力したパスワードを確定するには、[⑤メニューボタン(M)]を軽く1回押します。画面の表示が「COdE 10」⇒「COdE 20」に変わり、「新しいパスワードの確認」の画面に移ります。



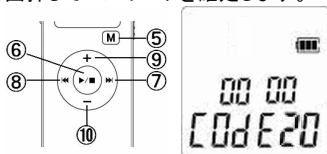
(6) 再度、新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの確認」の画面では、(2)の要領で再度(4)で入力した新しいパスワードを入力します。

パスワード機能

(7) 変更したパスワードを反映する

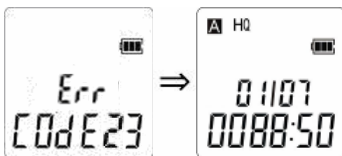
再度新しいパスワードを入力したら、[⑤メニューボタン(M)]を軽く1回押してパスワードを確定します。



入力したパスワードが正しければ、変更したパスワードを反映するため自動的に本体の電源が切れます。



なお、(6)の「新しいパスワードの確認」の画面で入力したパスワードが正しくないと、画面に「Err」と表示され、(4)の「新しいパスワードの入力」の画面に戻ります。もし、3回続けて「新しいパスワードの確認」を間違えた場合は、自動的にパスワード変更操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。



パソコンに接続する

付属の USB ケーブルとパソコンの USB 端子と接続し、データの転送を行うことができます。

本製品は大容量記憶装置 (MassStorageClass) ドライバに対応しており、対応 OS (Windows 2000/XP/Vista[32 ビット版]) がインストールされたパソコンと付属 USB ケーブルを接続することにより、自動的に USB 大容量記憶装置デバイスとして認識されます。

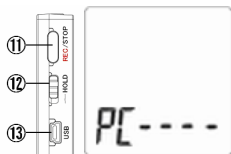
USB 大容量記憶装置デバイスとして認識された後は、一般のリムーバブルディスクとして Windows(R) のエクスプローラーによるファイルのドラッグ & ドロップなどの操作によってファイルのコピー、削除、移動を行うことができます。

⚠ 注意

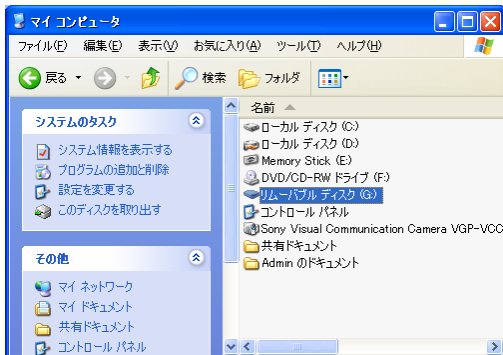
パソコンの OS のバージョンやメーカーにより、お客様のパソコンの表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。(説明で使用する画面は Windows XP となります)

機器の接続

付属の USB ケーブルで、本体左側面の[⑬USB 端子(USB)]とパソコンの USB 端子を直接接続すると、自動的に必要なドライバがインストールされ、本製品がリムーバブルディスクとしてパソコンの OS に認識されます。接続の準備が完了すると本製品の画面に「PC——」と表示されます。



パソコンに接続する



⚠ 注意

- パスワード機能を ON にしていると、電源を起動するときにパスワード認証が必要です。正しいパスワードを入力しないとパソコンと接続することができませんのでご注意ください。(⇒ 45ページ)
- 本製品とパソコンは必ず直接 USB ケーブルで接続してください。USB ハブなどの中継機器を経由して間接的に接続する場合は正常に動作できない場合がございます。
- データ破損の原因となりますので、接続の準備中またはデータの転送中は絶対に USB ケーブルを外したり、接続を解除したりしないでください。
- 対応するパソコンの OS は Windows 2000/XP/Vista (32 ビット版) となります。それ以外の OS、および自作パソコンでの動作保証はございません。

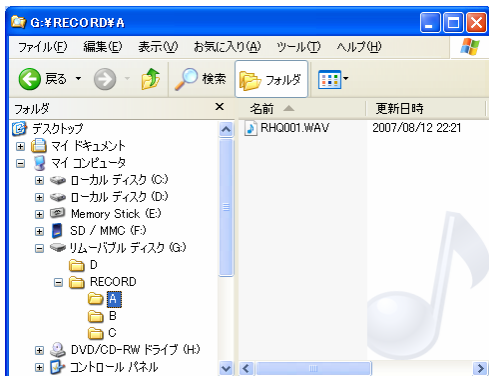
パソコンに接続する

録音ファイルの確認

本製品がパソコンの OS にリムーバブルディスクとして認識されると、パソコン内のファイルを見るように、本製品に録音されているファイルをパソコン上から確認することができます。

録音されているファイルはリムーバブルディスク内の[RECORD]フォルダ
⇒ [A/B/C]の各フォルダに保存されています。

[A/B/C]の各フォルダは本製品における「A/B/C」の各録音フォルダにリンクしています。つまり、本製品において[A フォルダ]に録音したファイルは、パソコン上でも[A フォルダ]内に存在します。

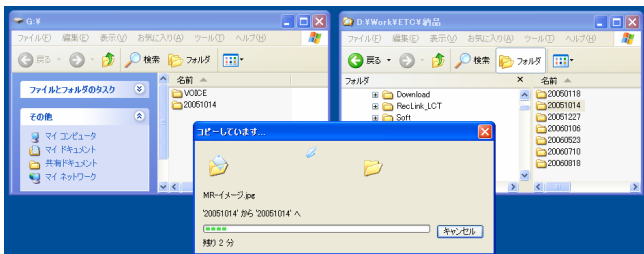


パソコンに接続する

データの転送

本製品ではパソコンとのデータ転送においては特別なマネージャソフトを必要としないため、ファイル操作はパソコン内のファイルを操作するように、Windows(R)のエクスプローラーからドラッグ & ドロップなどの操作で簡単に行うことができます。

なお、録音ファイルの他、Excel(R)やWord(R)などの一般的な任意のデータも転送することが可能ですが、本製品の動作に影響しますので、**既存のフォルダ(RECORD/A/B/C)内には録音データ以外のデータを転送しないでください。**



⚠ 注意

- 本製品の動作に影響しますので、既存のフォルダ(RECORD/A/B/C)内には録音データ以外のデータを転送しないでください。
- データ破損の原因となりますので、データの転送中は絶対に USB ケーブルを外したり、接続を解除したりしないでください。

パソコンに接続する

パソコンから取り外す

本製品をパソコンから取り外すときは、**[⑤メニューボタン(M)]**を軽く1回押すか、一般の USB メモリと同じように、必ずパソコン上でアンマウント（ハードウェアの安全な取り外し）操作を実行した後に取り外してください。パソコンとの接続が解除されると、待機状態へ戻ります。

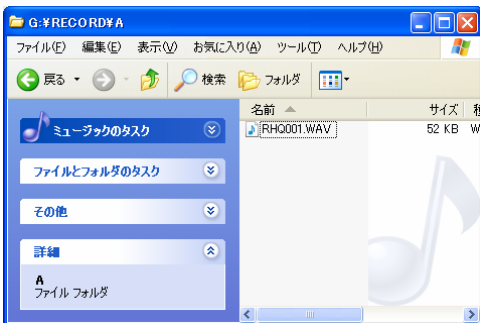


録音ファイルをパソコン上で再生する

本製品で録音した音声ファイルは録音音質ごとにフォーマットが異なります。[HQ/MQ]の場合はそのままパソコン上で再生することが可能ですが、[LQ]の場合は付属の専用アプリケーションでフォーマット変換することによって、パソコン上で再生することが可能です。

HQ/MQ で録音したファイルをパソコン上で再生する

本製品の[HQ/MQ]で録音した音声ファイルは汎用的な WAV フォーマットのため、パソコン上の音楽ファイルのように Windows Media Player(R)などの一般的なアプリケーションから再生することができます。



▲ ワンポイント

- WAVの拡張子が適切なアプリケーションに関連付けられている場合は、録音ファイルをダブルクリックすることで録音ファイルを再生することができます。
- Windows Media Player(R)などのアプリケーションの操作方法は、アプリケーション独自の説明書などをご確認ください。

録音ファイルをパソコン上で再生する

LQで録音したファイルをパソコン上で再生する

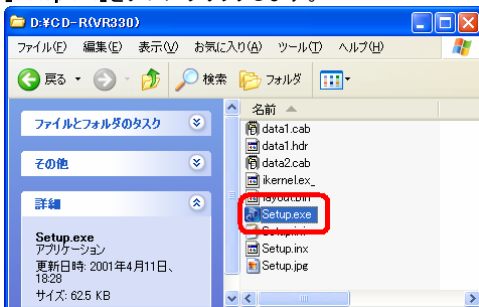
本製品の[LQ]で録音した音声ファイルは**独自のフォーマットのため、そのままではパソコン上で再生することができません。**パソコン上で再生するためには、付属の専用アプリケーションを使用して、パソコン上でも再生できる汎用的なフォーマットに変換する必要があります。

(1) 専用アプリケーションのインストール

⚠ ワンポイント

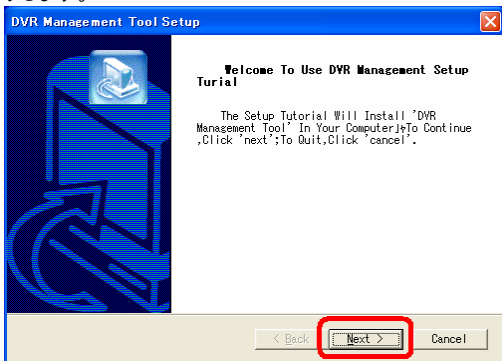
このアプリケーションは一度インストールすれば、アンインストールしない限り、同一のパソコンで再度インストールする必要はございません。

付属の CD をお使いのパソコンの CD ドライブにセットし、CD 内にある [Setup.exe]をダブルクリックします。

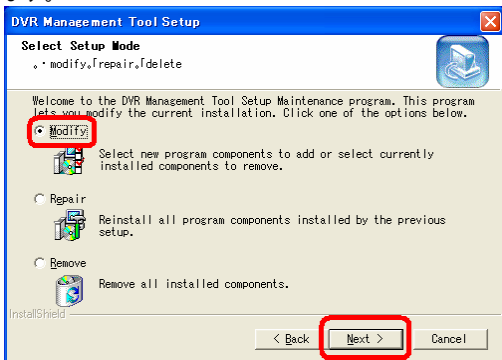


録音ファイルをパソコン上で再生する

アプリケーションのインストーラーが起動しますので[Next]ボタンをクリックします。

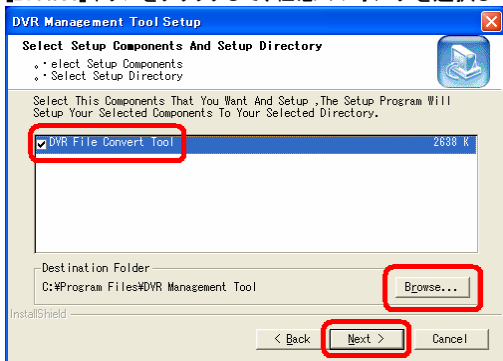


セットアップモードの選択では[Modify]を選択し、[Next]ボタンをクリックします。



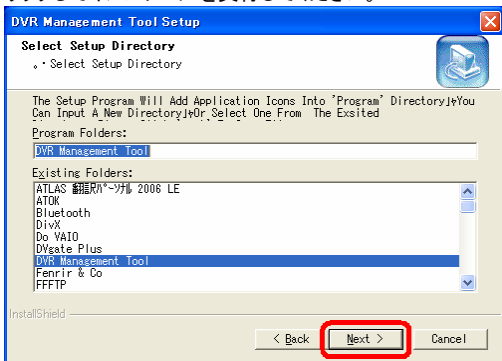
録音ファイルをパソコン上で再生する

インストールコンポーネントの選択では「DVR File Convert Tool」が選択（チェック）されていることを確認し、[Next]ボタンをクリックします。なお、インストールするフォルダを変更したい場合は、この画面で[Browse]ボタンをクリックして、任意のフォルダを選択してください。

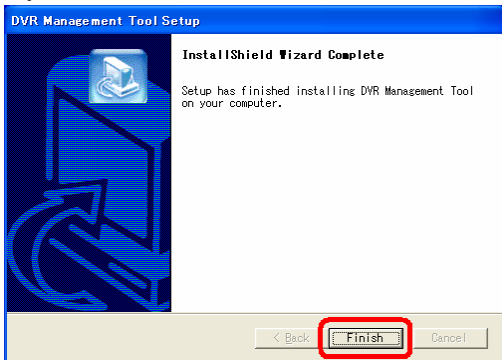


録音ファイルをパソコン上で再生する

インストール確認の画面では内容に問題がなければ、[Next]ボタンをクリックしてインストールを実行してください。



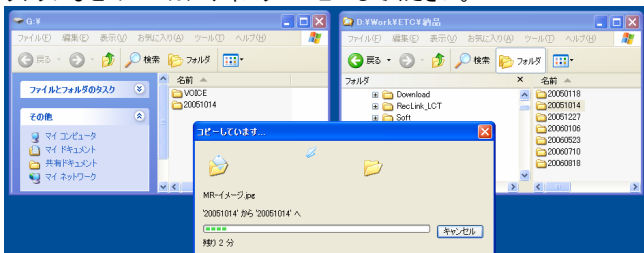
インストールが無事完了すれば「InstallShield Wizard Complete」と表示されますので、[Finish]ボタンをクリックして、インストールを終了してください。



録音ファイルをパソコン上で再生する

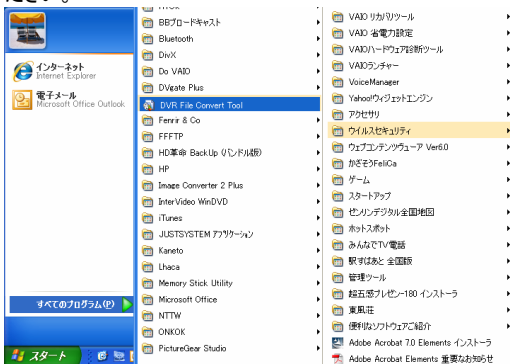
(2) フォーマット変換する録音ファイルをパソコンへコピーする

本製品をパソコンに接続し、本体内の[C フォルダ]にあるフォーマット変換したい録音ファイルをドラッグ & ドロップなどの操作で、パソコンのデスクトップなどのローカルディスクへコピーしてください。



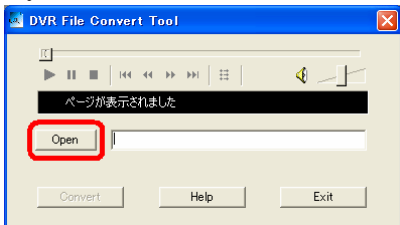
(3) フォーマット変換を実施する

Windows の[スタート]プログラムから[DVR File Convert Tool]を起動してください。

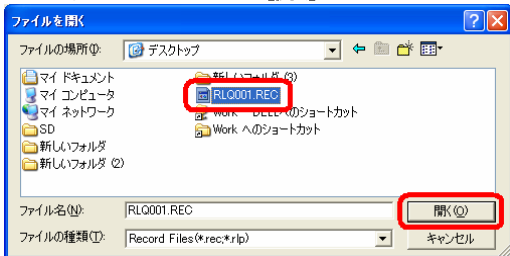


録音ファイルをパソコン上で再生する

[DVR File Convert Tool]が起動したら、[Open]ボタンをクリックしてください。

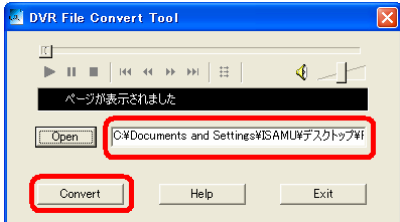


[ファイルを開く]画面が起動しますので、(2)で本体からパソコンへコピーした録音ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックしてください。

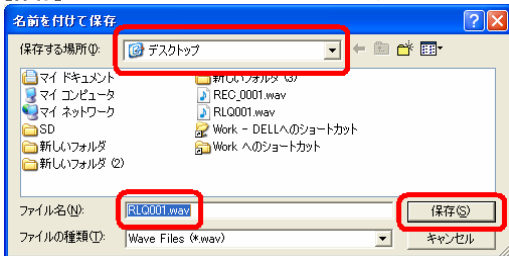


録音ファイルをパソコン上で再生する

[DVR File Convert Tool]画面内に先ほど選択した録音ファイルが表示されますので、[Convert]ボタンをクリックしてください。



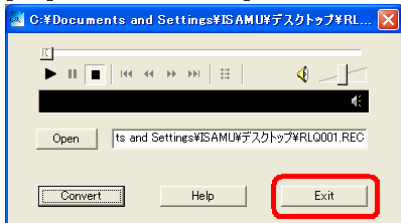
[名前を付けて保存]画面が起動しますので、任意のフォルダを選択し、[保存]ボタンをクリックして、フォーマット変換を実行してください。



録音ファイルをパソコン上で再生する

先ほど選択したフォルダ内にフォーマット変換後の WAV ファイルが新規作成されていたらフォーマット変換は成功です。

[Exit]ボタンをクリックして、[DVR File Convert Tool]を終了してください。



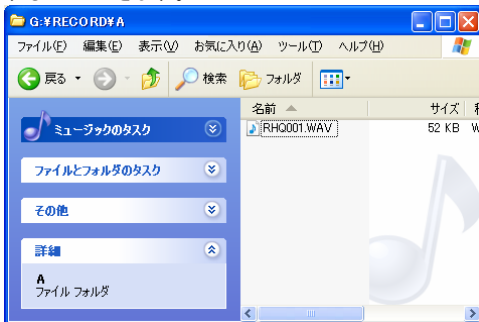
⚠ 注意

- フォーマット変換は新たにファイルを作成するため、オリジナルの録音ファイルはそのまま残ります。
- フォーマット変換の過程で音質が劣化することがあります。

録音ファイルをパソコン上で再生する

(4) フォーマット変換した録音ファイルを再生する

フォーマット変換した録音ファイルは、[HQ/MQ] で録音した音声ファイルと同じ汎用的な WAV フォーマットのため、パソコン上の音楽ファイルのように Windows Media Player(R)などの一般的なアプリケーションから再生することができます。



▲ ワンポイント

- WAVの拡張子が適切なアプリケーションに関連付けられている場合は、録音ファイルをダブルクリックすることで録音ファイルを再生することができます。
- Windows Media Player(R)などのアプリケーションの操作方法は、アプリケーション独自の説明書などをご確認ください。

ポータブルオーディオプレーヤーとして使用する

本製品では録音されたファイル以外にも、インターネットからのダウンロードやパソコン上で録音した MP3 ファイル、および WMA ファイルを再生することができます。ポータブルオーディオプレーヤーとして使用することができます。

⚠ 注意

- 再生に対応している音楽フォーマットは MP3(8kbps ~ 320kbps)と WMA(32kbps ~ 192kbps)のみとなります。それ以外のフォーマットファイルは本製品で再生することはできません。
- Windows Media Player(R)などのアプリケーションの操作方法は、アプリケーション独自の説明書などをご確認ください。

パソコン内の音楽ファイルを本製品にコピーする

本製品で音楽ファイルを再生するには、事前にパソコン内の音楽ファイルを本製品の[D フォルダ]へコピーする必要があります。

(1) パソコンに接続する

本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続してください。

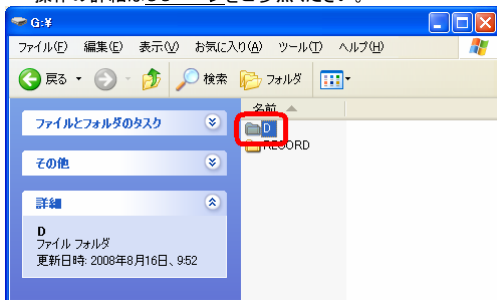
⇒ 操作の詳細は [53ページ](#) をご参照ください。

ポータブルオーディオプレーヤーとして使用する

(2) パソコン内の音楽ファイルを[D フォルダ]にコピーする

パソコン上の音楽ファイルをドラッグ & ドロップなどの操作でリムーバブルディスク内の[RECORD]フォルダ ⇒ [D フォルダ]内へコピーしてください。

⇒ 操作の詳細は 56ページ をご参照ください。



⚠ 注意

本製品で再生できる音楽ファイルは[D フォルダ]内のファイルのみです。[D フォルダ]以外の場所に保存された音楽ファイルは再生できません。

(3) パソコンから取り外す

音楽ファイルの転送が完了したら、本製品をパソコンから取り外してください

⇒ 操作の詳細は 57ページ をご参照ください。

コピーした音楽ファイルを再生する

パソコン内の音楽ファイルを本製品にコピーすることができたら、本製品から音楽ファイルの再生を行ってください。再生の操作手順は通常再生の手順と同じですので、詳しい説明は 28ページ をご参照ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、まず次の点をご確認ください。

こんなとき	ここをご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">●電池残量が十分にあるかご確認ください。●ホールド機能が有効になっていないかご確認ください。(⇒ 13ページ)●電源起動操作が不十分である可能性がございます。電源ボタンを2秒間以上長押しして電源を起動してください。(⇒ 11ページ)
電源を起動しても数秒で勝手に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">●電池残量が十分にあるかご確認ください。
待機状態で一定時間経過すると、勝手に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none">●本製品の自動電源 OFF 機能です。不具合ではございません。
ディスプレイの表示が薄い	<ul style="list-style-type: none">●電池残量が十分にあるかご確認ください。●液晶の性質上、ご使用の温度環境によっては一時的に表示が薄くなる場合がございます。その場合は適切な温度環境下(0℃～40℃)でしばらく(少なくとも5分)ご使用になると通常表示に戻ります。
録音が途中で止まる	<ul style="list-style-type: none">●VOR 機能が ON になっていないかご確認ください。(⇒ 18ページ)
HQ で VOR 機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none">●VOR 機能は MQ と LQ で録音する時のみ動作します。HQ で録音する時は動作しません。(⇒ 18ページ)
ボイス録音時に音が割れる	<ul style="list-style-type: none">●本製品は人の声を長時間録音するのに適した製品です。音楽演奏などの録音には向いておりませんので、音楽 CD など、音声以外の音を録音すると、再生時に音が割れる場合があります。
録音にガサガサと雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">●録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないようにしてください。
[dIC FULL]と表示されて録音ができない	<ul style="list-style-type: none">●内蔵メモリの空き容量がなく、それ以上録音ができない状態です。不要なデータの退避や削除をして、メモリの空き容量を確保してください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをご確認ください
スピーカーから音が聞こえない	●音量を大きくしてお試しください。(⇒ 30ページ)
イヤホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	●音量を大きくしてお試しください。(⇒ 30ページ) ●イヤホンが奥までしっかり差し込まれているかご確認ください。 ●プラグが汚れていないかご確認ください。
PC 接続がうまくいかない	●本製品とパソコンがUSB ケーブルで正しく接続されているかご確認ください。 ●パスワード機能をONに設定している場合はパスワード認証を解除しているかご確認ください。(⇒ 45ページ) ●ホールド機能が有効になっていないかご確認ください。(⇒ 13ページ) ●USB ケーブル及び、パソコン側の USB 端子に破損や故障がないかご確認ください。
ファイルが再生できない	●本製品が再生に対応していないフォーマットのファイルを再生しようとしている可能性がございます。本製品が再生に対応しているファイルのフォーマットと、再生しようとしているファイルのフォーマットをご確認ください。(⇒ 68ページ) ●MP3/WMA ファイルを再生するには本体の[D フォルダ]にファイルが保存されている必要があります。再生しようとしているファイルの保存フォルダをご確認ください。(⇒ 68ページ) ●本製品はDRM(デジタル著作権管理)機能が付いたWMAフォーマットの再生には対応しておりません。再生しようとしている音楽ファイルにDRMが設定されていないかご確認ください。 ●再生ファイルにデータの破損がないかご確認ください。
一切のボタン操作ができなくなった	●ホールド機能が有効になっていないかご確認ください。(⇒ 13ページ) ●パスワード機能がONになっていないかご確認ください。(⇒ 45ページ)
録音内容が消えている	●録音中や再生中に落下等の衝撃が加わったり、予期しない電源の切断が発生したりすると、保存データが消える場合がございます。
ボタンを押してから反応するまでの時間が遅くなった	●電池残量が十分にあるかご確認ください。 ●内蔵メモリの空き容量が極端に少なくなると発生することがございます。不要なデータを削除して再度お試しください。

主な製品仕様

録音フォーマット	●HQ:WAV(64Kbps) ●MQ:WAV(32Kbps) ●LQ:オリジナル(8Kbps)
再生対応フォーマット	●MP3:8kbps～320kbps ●WMA:32kbps～192kbps ※WMAはDRM非対応
最大保存ファイル数	297件(音質モード各99件)
電源	単4電池2本
電池持続時間	●再生時:約26時間 ●録音時:約40時間
ディスプレイ	液晶ディスプレイ
周波数特性	500Hz～3500Hz
S/N比	57dB
内蔵マイク	コンデンサマイク
内蔵スピーカー	直径23mm(16Ω)
定格出力	●スピーカー最大出力:200mW ●イヤホン最大出力:2mW
使用可能温度	0℃～40℃
データ転送速度	USB 2.0
対応OS	Windows 2000/XP/Vista(32ビット版) ※自作パソコンでの動作保証はございません。
端子	マイク/イヤホン、USB
サイズ	[H]107mm/[W]32mm/[D]13mm
重さ	33g(電池なし)
付属品	イヤホン、USBケーブル、インストールCD、オーディオケーブル、固定電話機用回線アダプタ、モジュラーコード、単4電池2本(テスト用)、取扱説明書・保証書

※本仕様及びデザインは製品の性能向上のため、予告なしに変更することがございます。

保証規定

1. 保証期間中に取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償保証をさせていただきます。
2. 保証期間中の無償保証はサポートID登録をされた方に対して有効です。商品ご購入後30日以内に下記 URL よりサポートID登録を行ってください。それ以外の方は商品ご購入日より30日保証とさせていただきます。

<http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

3. この保証書は、本製品の直接購入者に限って適用されるものであり、他人に譲渡することはできません。また個人取引などで購入された商品は保証の対象外となります。
4. この保証書は、本製品が組み込まれるユーザー側のコンピュータ、ハードウェア、その他の関連システム構成などに起因する何らかの互換性を保証するものではありません。
5. 次の各項のいずれかに該当する場合、保証期間中でも保証の責任を負わないものとします。
 - ◎保証書のご提示がない場合
 - ◎保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの及び販売店名の表示のない場合
 - ◎お客様によるお買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障
 - ◎火災、地震、水害、落雷、その他の天災事変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ◎接続しているほかの機器に起因して生じた故障及び損傷
 - ◎商品の故障等によって生じた他の機器への影響やデータ損失などの損害
 - ◎当社以外での改造、調整、部品交換などをされた場合
 - ◎説明書の記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷
 - ◎消耗品類の交換
 - ◎当社で不具合の確認が取れなかった場合
 - ◎外傷が酷い、付属品などが揃っていない場合
 - ◎お客様によるOSやソフトウェアのインストールによって生じた不具合、相性など
 - ◎メーカー保証書があるにも関わらず紛失している場合
6. 交換、修理後の製品の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日とします。
7. この保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
8. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、本製品の使用または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)に関して当社は一切の責任を負わないものとします。

※この保証書は、保証規定に明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

本書は、保証規定内容により、下記の保証期間中に故障が発生した場合に無償修理させて頂くことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、当社まで修理のご依頼の上、本書をご提示ください。

※故障の起因がお客様の過失による場合は有償対応となりますので予めご了承願います。

製品名	VR330	
保証期間	■ 12ヶ月間 ※サポートID登録された方のみ有効	
ご購入日	年 月 日	
お客様情報	お名前	
	ご住所	〒
	ご連絡先	
	E-mail アドレス	
販売店情報		

ATC アクセルトレーディング株式会社

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島 3-14-9 三好第3ビル 302

サポートID登録用 URL : <http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

FAQ(よくあるご質問とご回答) : <http://www.accel-trade.com/support/faq.html>

E-mail : support@accel-trade.com